

## 平成25年度 生駒市子ども読書活動連絡調整会議

### 市内学校図書館視察記録（要約）

日 時： 平成25年11月8日（金）午後2時20分から

場 所： 生駒市立あすか野小学校、上中学校

目 的： 学校図書館司書配置後の図書館の現状を把握し、今後の学校図書館支援の方法と課題を探る。

【参加者】 岩崎れい、松田孝一、平井富久子、森田桂子、島谷佳子、  
山中和幸、奥本恵、安田潤子、伊東英治、桑田恵美子  
（欠席）真銅宏

【司書教諭】 大島すみ子、西端香織

【学校図書館司書】 浜田幸子、中澤智子、高野綾子、高見嘉奈子、大東桂子、  
足立美佳、野見香織、鄭典子、東森智子

【事務局】 向田真理子、平澤佐千代、清水淳子、春名己容子（以上、図書館）

### 生駒市立あすか野小学校図書館

1階図書室前の廊下は、体育館へ通じているため全校児童が行き来する。図書室前の掲示板には保護者ボランティアによる季節の飾りつけがされていて、まずは、子どもを図書室に呼び込むことが大事という考えのもと運営されている。

学校図書館司書（以下、学校司書と表記）の配置は平成23年度から。学校司書は、多忙な司書教諭を助け、日々連絡を取り合い協力しあって、書架の整理、書架サインの工夫、見せる展示等を行い、子どもたちにとって魅力ある図書室になるよう取り組んでいる。ソフト面でもクラス単位でオリエンテーションや読み聞かせを実施する等、週1日の勤務ながら、その活動が着実に利用に結びついている。

#### ～ 質疑応答より ～

##### 【2つの図書室を統合】

2つあった図書室を昨年4月に1つに統合。調べ学習室の事典類を現図書室に移動し、読み物の本と同じ部屋に配架。物語の中の事柄を事典で確認する等、相乗効果で図書館利用が広がった。また、電算化に備えて、古くて利用に耐えない図書の除籍を行った。

選びやすい環境が大事なので、表紙見せ展示を多くし、書架サインも付けて、子どもた

ちにわかりやすい書架にした。

#### 【電算化】

1学期に保護者ボランティアがバーコード貼付。夏休みには教職員でデータ登録。2学期からパソコンで貸出を開始。貸出処理が早くなり、図書室は今まで以上に賑わっている。

#### 【選書】

今年度はベルマークを集めて購入した166冊を含む267冊を購入。教科補助資料は偏りなく入れている。年度末に先生方に購入希望を聞いているが、多くの意見を集めるためには更なるアピールが必要。

#### 【図書館利用教育】

複数学年の国語の教科書に図書室利用の単元があり、全校で「図書の時間」を活用したオリエンテーションを実施。学校司書の出勤曜日に「図書の時間」が設定されているクラスには学校司書が、それ以外のクラスは担任が、図書室利用方法等を教えている。

#### 【ボランティア】

2回／月、保護者ボランティアは6～7人。図書室前廊下を飾る掲示物の製作を担当。図書室内の壁面飾りの製作でも明るく楽しい雰囲気作りに協力。

生駒おはなしの会は、月2回、昼休みにふれあいホールでおはなし会を実施。

#### 【市立図書館との連携】

市立図書館発行のブックリスト掲載本を借り、学級文庫に年単位で設置。調べ学習の本は、必要に応じてテーマごとに借用。また、市立図書館の司書に全学年へ出前おはなし会を依頼。

#### 【読書週間】

あすか野タイムに、教諭が、担任しているクラスとは別のクラス（くじ引きで決定）へ行って本を読む、読み聞かせを実施。また、図書委員が給食の時間に、校内放送でおすすめの本を紹介したり、本に関するクイズを実施。

#### 【学社連携】

学校地域パートナーシップ事業等を通じて、各地域の小、中学校では、子どもと地域の絆を大切にする活動が続けている。地域の方を語り部として招く授業や、昔遊び等で子ども達と関わってもらう取り組みも実施。

## 生駒市立上中学校図書館

図書室入り口のショーケースには、本が魅力的に展示紹介されていて目を引く。旧たけまるホール図書室から書架を譲り受け、机も温かみのある木製のものに少しずつ入れ替えを進めている。費用を抑えながら、子どもたちがくつろぎやすい図書室を目指す工夫の結果、現在では、本を読む子も読まない子も図書室に集まってくるという望ましい状況が実現している。

学校司書の配置は、平成23年度から週1日。学校司書は、多忙な司書教諭と共同して選書や除籍、本の装備や修理等の蔵書管理を行う他、授業でオリエンテーションやブックトークを担当する等、ハード面でもソフト面でも図書室に欠かせない存在として活躍している。

### ～ 質疑応答より ～

#### 【図書館利用教育】

4月に学校司書が新生にオリエンテーションを実施。2、3年生には4月の国語の授業で読書アンケートを実施し、5月頃に集計結果を出している。

#### 【選書】

図書委員が書店や古本市で選書。市立図書館のリサイクル本を利用したり、保護者からの寄贈も受け入れている。

司書教諭と学校司書が相談して偏りのないように選書。不適切でなければ生徒のリクエストにも応える。ベストセラーも多く入れているが、常に貸出状態。傷みがひどいものは除籍するが、古くても利用のある本はできるだけ除籍せず活用。

#### 【教科補助資料】

司書教諭、学校司書で資料の利用傾向を見ながら選書。本のカatalogを先生方に回覧。図書館部会の先生（他校）からの情報を購入選定の参考にすることもある。

修学旅行用の本、奈良の本（ガイドブック、仏像、寺院等）、職業選択の本、平和学習の本等を受入。ハンドボール、バスケットボールの本はクラブの顧問の先生が読み終えたものを寄贈。

#### 【開室と利用の状況】

月～金曜日は図書委員が昼休みに10分間開室。放課後は月・火・金曜日を司書教諭、学校司書、ボランティアで開室。「生徒にとって居やすい場所」を目指し、保護者ボランティアが、毎月テーマを決めて室内の飾りつけをしている。部活もあり、帰る子もいるが、ここ1～2年は固定客がつくようになった。

アンケートによると本好きな子が多く、また、本を読まなくても図書室へ来る子は多い。

近年、小学校時代に図書室利用の習慣が身についていることも大きい。3年生は市立図書館の団体貸出や、ブックリスト掲載本紹介のブックトークの後は借りていくが、受験で余裕がないのか、それ以外はなかなか貸出利用に繋がらない。

#### 【司書教諭の現状】

小学校との連携は難しいが、中学校教諭の交流は、図書部会で年2～3回程度ある。

学校司書が週一の勤務日に多様な事務を処理。司書教諭は授業、出張等があり、なかなか図書室に居ることができない。新しい本（今年度受入冊数は、340冊）の掲示やデータ化の仕事が一時期になるので忙しい。

#### 【他の教職員とのコミュニケーション】

現司書教諭の赴任当初は、図書室が授業に使われることもなかった。まず部屋の環境を整えることから始め、その後も、書架を整えたり、配列の工夫、特集コーナーの設置、窓や壁面を季節に合わせて飾ったりと、教職員研修や職員会議で図書室に入る先生方にも図書室の変化をアピールしてきた。また、教科の補助資料になりそうな本は、目に付きやすい書架に置き、各教科の先生方に活用してもらえるよう待機させている。